



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 (株)アルバック 上場取引所 東
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 IR室長 (氏名) 梅田 彰 TEL 0467-89-2033
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績 (2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	96,749	△17.2	8,396	△45.8	9,949	△39.2	7,787	△30.7
2019年6月期第2四半期	116,794	△6.8	15,487	△17.2	16,373	△16.7	11,234	△31.2

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 8,815百万円 (286.8%) 2019年6月期第2四半期 2,279百万円 (△92.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	158.01	—
2019年6月期第2四半期	227.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	296,838	160,692	51.9
2019年6月期	282,302	157,588	53.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 154,040百万円 2019年6月期 150,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	—	—	105.00	105.00
2020年6月期	—	—	—	—	—
2020年6月期 (予想)	—	—	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想 (2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	198,000	△10.3	15,000	△37.0	16,600	△35.1	10,800	△42.1	219.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期2Q	49,355,938株	2019年6月期	49,355,938株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	71,818株	2019年6月期	76,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期2Q	49,280,791株	2019年6月期2Q	49,276,377株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位:百万円)

	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	2020年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	119,461	71,984	△39.7%
売上高	116,794	96,749	△17.2%
営業利益	15,487	8,396	△45.8%
経常利益	16,373	9,949	△39.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	11,234	7,787	△30.7%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含むなど、回復の動きに足踏みがみられました。米国では、個人消費の増加などにより景気は回復が続いてきましたが、欧州では、消費は緩やかながら増加しているものの、景気は弱い回復となっています。中国では、製造業を中心に緩やかな減速が続いています。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場において、データセンター向けサーバー需要やスマートフォン需要の減速により半導体メモリーメーカーの設備投資は足元では調整局面にありますが、投資再開の動きもみられ、中長期的にはスマート化社会の進展に向けた投資が活発化するものと見られます。フラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、大型液晶パネル投資の大型商談は一段落しており、スマートフォン用有機ELパネル投資も一時的な調整局面にあります。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高は719億84百万円(前年同期比474億77百万円(39.7%)減)、売上高は967億49百万円(同200億45百万円(17.2%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は83億96百万円(同70億92百万円(45.8%)減)、経常利益は99億49百万円(同64億24百万円(39.2%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、77億87百万円(同34億47百万円(30.7%)減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位:百万円)

	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	2020年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	102,234	56,026	△45.2%
売上高	100,641	81,191	△19.3%
営業利益	14,323	7,231	△49.5%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、大型液晶パネル投資の大型商談が一段落し、スマートフォン用有機ELパネル投資も一時的な調整局面にあることから、受注高が前年同期を大幅に下回り、売上高も下回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリーやDRAM、新型不揮発性メモリー向けスパッタリング装置・自然酸化膜除去装置などのメモリー関連投資が調整局面にありましたが、ロジック向けスパッタリング装置などが寄与し、受注高は前年同期を上回りました。電子部品関連は、通信デバイスやパワーデバイス向け製造装置が堅調に推移しました。

(コンポーネント)

コンポーネント関連は、受注高、売上高ともに前年同期を下回りましたが、有機EL製造装置に搭載するクライオポンプや真空ポンプ、計測機器などが堅調に推移しました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や高機能磁石製造装置、漏れ検査装置などの受注、売上を計上しましたが、中国での設備投資低迷などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は560億26百万円、受注残高は642億83百万円、売上高は811億91百万円となり、72億31百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	2020年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	17,228	15,958	△7.4%
売上高	16,153	15,558	△3.7%
営業利益	1,197	1,121	△6.4%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、装置稼働低下の影響などにより、受注高、売上高ともに前年同期を下回りました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイが堅調に推移、表面分析機器関連も寄与し、受注高、売上高は前年同期並みとなりました。

その結果、真空応用事業の受注高は159億58百万円、受注残高は67億14百万円、売上高は155億58百万円となり、11億21百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、145億36百万円増加となりました。主な要因は、現金及び預金が188億12百万円増加したこと、一方で、受取手形及び売掛金が31億56百万円減少したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、114億33百万円増加となりました。主な要因は、長期借入金が179億77百万円増加したこと、一方で、前受金が32億61百万円減少したこと、短期借入金が17億64百万円減少したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、31億4百万円増加となりました。主な要因は、利益剰余金が26億5百万円増加したこと、その他の包括利益累計額が5億6百万円増加したことなどです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、売上債権の減少などのプラス要因に対し、前受金の減少、仕入債務の減少などのマイナス要因により、97億46百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入、有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、3億69百万円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の増加、配当金の支払、短期借入金の減少などにより、99億80百万円の収入となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、204億32百万円増加し、762億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年8月7日に公表しました2020年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日(2020年2月13日)公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,557	77,369
受取手形及び売掛金	77,236	74,079
商品及び製品	3,937	4,510
仕掛品	24,033	23,203
原材料及び貯蔵品	11,803	11,754
その他	6,840	5,446
貸倒引当金	△444	△410
流動資産合計	181,962	195,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,951	29,282
機械装置及び運搬具(純額)	17,459	17,384
工具、器具及び備品(純額)	1,981	1,806
土地	8,357	8,341
リース資産(純額)	715	2,581
建設仮勘定	7,226	8,732
有形固定資産合計	65,687	68,127
無形固定資産		
リース資産	55	65
ソフトウェア	1,030	1,116
その他	2,361	2,097
無形固定資産合計	3,446	3,278
投資その他の資産		
投資有価証券	13,797	13,768
繰延税金資産	10,180	8,816
その他	11,690	8,983
貸倒引当金	△4,462	△2,083
投資その他の資産合計	31,207	29,483
固定資産合計	100,340	100,888
資産合計	282,302	296,838

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,748	39,262
短期借入金	14,915	13,151
リース債務	306	431
未払法人税等	2,802	2,069
前受金	15,849	12,589
賞与引当金	3,625	3,702
役員賞与引当金	485	235
製品保証引当金	1,632	1,738
受注損失引当金	1,099	1,167
その他	13,041	12,247
流動負債合計	94,501	86,591
固定負債		
長期借入金	20,668	38,646
リース債務	551	2,243
繰延税金負債	16	15
退職給付に係る負債	7,846	7,608
役員退職慰労引当金	75	—
役員株式給付引当金	145	150
資産除去債務	399	401
その他	512	493
固定負債合計	30,213	49,556
負債合計	124,714	136,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	120,985	123,589
自己株式	△247	△230
株主資本合計	145,522	148,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,652	6,618
為替換算調整勘定	266	695
退職給付に係る調整累計額	△1,528	△1,418
その他の包括利益累計額合計	5,390	5,896
非支配株主持分	6,676	6,651
純資産合計	157,588	160,692
負債純資産合計	282,302	296,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	116,794	96,749
売上原価	82,014	71,088
売上総利益	34,780	25,661
販売費及び一般管理費	19,293	17,266
営業利益	15,487	8,396
営業外収益		
受取利息	96	96
受取配当金	279	343
受取賠償金	19	713
持分法による投資利益	165	248
その他	835	791
営業外収益合計	1,394	2,191
営業外費用		
支払利息	140	181
その他	369	457
営業外費用合計	509	638
経常利益	16,373	9,949
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,261
持分変動利益	303	—
特別利益合計	303	3,261
特別損失		
減損損失	—	60
特別損失合計	—	60
税金等調整前四半期純利益	16,676	13,150
法人税、住民税及び事業税	3,524	2,931
過年度法人税等	—	618
法人税等調整額	1,356	1,342
法人税等合計	4,880	4,892
四半期純利益	11,796	8,258
非支配株主に帰属する四半期純利益	563	471
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,234	7,787

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	11,796	8,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,123	△36
為替換算調整勘定	△862	542
退職給付に係る調整額	79	111
持分法適用会社に対する持分相当額	389	△61
その他の包括利益合計	△9,518	556
四半期包括利益	2,279	8,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,790	8,293
非支配株主に係る四半期包括利益	489	522

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,676	13,150
減価償却費	3,401	3,845
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△41	△2,416
賞与引当金の増減額(△は減少)	247	△8
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△106	△91
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△135	△75
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5	5
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△54	91
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△240	68
受取利息及び受取配当金	△375	△439
支払利息	140	181
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△3,261
持分変動損益(△は益)	△303	-
売上債権の増減額(△は増加)	△3,654	4,543
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,861	△345
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,557	△1,221
前受金の増減額(△は減少)	△645	△3,383
未払消費税等の増減額(△は減少)	492	△712
その他	1,317	3,655
小計	10,306	13,586
利息及び配当金の受取額	439	577
利息の支払額	△138	△203
法人税等の支払額	△5,240	△4,214
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,368	9,746
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,023	△1,364
定期預金の払戻による収入	4,680	3,014
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,476	△4,660
投資有価証券の売却による収入	-	3,371
その他	△220	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,039	369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,897	△3,177
長期借入れによる収入	10,200	23,300
長期借入金の返済による支出	△3,985	△3,949
配当金の支払額	△4,679	△5,169
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△737	△1,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,098	9,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	337
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,805	20,432
現金及び現金同等物の期首残高	54,348	55,859
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△588	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,955	76,291

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(ASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国の連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりASU第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(IFRS第16号「リース」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。

当該会計基準の適用(以下、本適用)により、借手のリースは、原則としてすべてのリースについて資産および負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。本適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、リース債務は適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定し、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

この変更に伴い、第1四半期連結会計期間の期首において、有形固定資産の「リース資産」が2,125百万円、流動負債及び固定負債の「リース債務」が2,061百万円それぞれ増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,641	16,153	116,794	—	116,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,811	891	2,702	△2,702	—
計	102,452	17,044	119,496	△2,702	116,794
セグメント利益	14,323	1,197	15,520	△32	15,487

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,191	15,558	96,749	—	96,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,652	678	2,331	△2,331	—
計	82,843	16,236	99,080	△2,331	96,749
セグメント利益	7,231	1,121	8,352	44	8,396

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	81,191	80.7
真空応用事業	15,558	96.3
合計	96,749	82.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	35,021	43.2
半導体及び電子部品製造装置	21,778	26.8
コンポーネント	14,475	17.8
一般産業用装置	9,918	12.2
計	81,191	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	7,150	46.0
その他	8,407	54.0
計	15,558	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。